

【児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）】

児童発達支援 にじいろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		できるだけスペースが広く確保できるようにしています
	②	職員の配置数は適切であるか	○		必要に応じて指定基準以上の配置を行い運営しています
	③	生活空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		その日のスケジュールは、朝のお集り時に絵カードやホワイトボードなどを使い、説明し、視覚的にもわかるように工夫しています
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	○		朝夕の清掃を行い、活動に合わせたレイアウトを行っています。空気清浄機を使用したり次亜塩素酸水での除菌、掃除を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○		毎日その日の職員で朝のミーティングを行い、申し送りをしています。勤務時間が異なるため、全員集まったの振り返りが難しい場合は申し送りノートや口頭で確認できるようにしています
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対し事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか。	○		今回が初めての事業所評価なので、保護者のご意向等により改善すべきところは行っています
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページなどで公開しているか	○		今回が初めての事業所評価なので、事業所内に掲示したり、ホームページでの公開を予定しています
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は第三者による外部評価をおこなっていませんが機会があれば行ってみたいです。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修については年間のスケジュールをたてて、可能な限りオンラインでの研修をとりいれています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の意向に基づき、面談や担当者会議、連絡帳等でのやりとりを確認して、職員で話し合い作成しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを使用し、聞き取りを行っています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに基づき、発達支援、家族支援、地域支援の支援内容を設定の上職員で話し合い、見直し、支援を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	○		職員同士で活動案を出し合い支援計画に沿った支援を意識しています。また同じプログラムを定期的に行うことで評価を行い、また変化のあるプログラムを組み、メリハリを考えています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を心掛けています
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に必ず行い、職員間で統一した目的で支援を行い、利用児に不安がないようにしています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		支援記録に記入したり、職員間で利用児についての振り返りを行い、共有。全職員で毎日することが難しいため、申し送りノートを活用しています
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用児、支援記録をとっています。また気づいた点やヒヤリハット等記録に残して共有、改善しています
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、また職員間で評価を行っています
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。必要に応じて現場の支援者の参加も行っていきたい。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて電話による連絡を取る場合がある。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		必要があれば保育所の職員と電話や直接来所、訪問などで情報共有を行っています
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		今年度が初めての小学校とのやりとりになり、引継ぎシートなどを活用し、情報共有を行いました
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修は行えていないが、担当者会議などで、併用児童の情報共有を行い、すり合わせをしています。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		同法人の保育園があることを生かし、保育園児との交流をする機会があります
	㉗	（自立支援）協議会こども部会や地域のこども・子育て会議などへ積極的に参加しているか		○	行えていませんが、機会があれば積極的に参加していきたい
	㉘	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、子供の健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○		送迎時や電話で行い、連絡帳ではアプリを利用して写真付きで分かりやすく支援の様子をお知らせしています
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ご家族からご相談をいただいた時には、送迎時や電話等でお子様の発達状況に合わせた助言を行っています
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に確認、ご説明しています
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインに基づいた支援計画をたて、項目内容の記載をしています。また保護者に支援内容のご説明をし、同意を得ています
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		担当者会議や送迎時、連絡帳を通して受け入れる体制を整えています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
	③③	父母会の活動を支援したり、保護者会などを開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		○	感染症の状況などを踏まえて、検討していきたい
	③④	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご相談があったときには内容に応じて、電話連絡や面談が行えるよう体制を整えています
	③⑤	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は発行していないが、活動予定表をお渡ししています。連絡帳では写真付きのアプリを使って様子をお伝えしています
	③⑥	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		常時鍵付きの書庫にて保管をし、職員が事業所内での閲覧としています
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもの特性に応じてボディランゲージや絵カードを利用しています
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	感染症の状況、個人情報の保護などを踏まえて、検討していきたい
非常時等の対応	③⑨	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを作成し、職員に周知しています。定期的に避難訓練を行い、火災訓練時には水消火器を用いて職員間で慌てることがないように訓練しています
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○		災害時の流れを絵本や絵カード等を利用してお話、説明しています
	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作などの子どもの状況を確認しているか	○		フェイスシートやアセスメントシートを活用し、保護者への聞き取りを行っています
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメントシートを活用し、保護者への聞き取りや周知を行い、必要があれば医師の指示書をいただいています
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書を月に一回集計し、リスクや解決策について現場で話し合い、対応しています
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定し、年に一回の研修を行っています。またコンプライアンスルールの読み合わせを行っています
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在身体拘束を行う事例は発生していません。今後やむを得ず実施する場合は保護者と十分な話し合いのもと、同意書、計画書を作成します